



2021年1月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年6月8日

上場会社名 株式会社 アルトナー

上場取引所 東

コード番号 2163 URL <https://www.artner.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関口 相三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 張替 朋則

TEL 06-6445-7551

四半期報告書提出予定日 2020年6月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年1月期第1四半期の業績(2020年2月1日～2020年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第1四半期	1,874	15.8	269	50.5	270	49.9	187	50.3
2020年1月期第1四半期	1,618	7.9	178	12.9	180	12.8	124	12.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第1四半期	17.62	
2020年1月期第1四半期	11.73	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年1月期第1四半期	4,046	2,802	69.3
2020年1月期	3,801	2,728	71.8

(参考)自己資本 2021年1月期第1四半期 2,802百万円 2020年1月期 2,728百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期		10.00		10.50	20.50
2021年1月期					
2021年1月期(予想)		11.50		11.50	23.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年1月期の業績予想(2020年2月1日～2021年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,832	11.9	975	10.1	979	9.6	677	10.4	63.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)年次での業績管理を行っておりますので、通期業績予想のみ開示しております。

(注)新型コロナウイルス感染症の拡大による業績への影響を現時点で合理的に算出することが困難なため、2020年3月13日に公表いたしました業績予想を据え置いております。今後、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年1月期1Q	10,627,920 株	2020年1月期	10,627,920 株
期末自己株式数	2021年1月期1Q	2,329 株	2020年1月期	2,329 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年1月期1Q	10,625,591 株	2020年1月期1Q	10,625,591 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページ(<https://www.artner.co.jp/ir/>)に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による世界経済の悪化、2020年4月7日の政府の緊急事態宣言の発令による経済活動、社会活動の抑制により、急速に悪化してまいりました。当社の主要顧客であるメーカーからの先行開発プロジェクトへの技術者要請は、当第1四半期累計期間の前半は平時のレベルで推移いたしましたが、後半は抑制されてまいりました。

このような状況の中、当社の技術者派遣事業においては、技術者数が前年同期を上回ったことに加え、技術者のニーズが継続し、稼働率が高水準で推移したことにより、稼働人員は前年同期を上回りました。また、技術者の業務実績を踏まえた顧客企業との単価交渉により、技術者単価は前年同期を上回りました。一方、4月7日の政府の緊急事態宣言の発令以降、顧客企業から当社の技術者への在宅勤務、シフト勤務、時差出勤等の要請に伴う出勤日数、残業の抑制により、労働工数は前年同期を下回りました。

採用活動、営業活動において、スタッフのテレワークを推進したことにより、旅費交通費、会議費等の費用が減少いたしました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,874,892千円（前年同期比15.8%増）、営業利益は269,309千円（前年同期比50.5%増）、経常利益は270,629千円（前年同期比49.9%増）、四半期純利益は187,266千円（前年同期比50.3%増）となりました。また、営業利益率は14.4%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ245,396千円増加し、4,046,535千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加88,321千円、繰延税金資産の増加54,777千円、前払費用の増加45,971千円、有形固定資産の増加32,101千円があったことによるものであります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ171,213千円増加し、1,243,972千円となりました。これは主に、賞与引当金の増加131,384千円があったことによるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末に比べ74,183千円増加し、2,802,563千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加75,697千円があったことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ88,321千円増加し、2,471,763千円となりました。

当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、233,242千円（前年同期比35,349千円増）となりました。これは主に、法人税等の支払額167,150千円があったものの、税引前四半期純利益270,156千円、賞与引当金の増加額131,384千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、42,535千円（前年同期比26,285千円増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出34,746千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、102,385千円（前年同期比193千円減）となりました。これは、配当金の支払額102,385千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

政府の緊急事態宣言は全国で解除されましたが、新型コロナウイルス感染症の収束時期や、経済活動、社会活動の回復速度を見通すには困難な状況であり、また、主な顧客企業において4月以降は新年度となりますが、先行開発のニーズはあるものの、投資予算は不透明な状況が継続しております。

既存技術者に関して、直近の契約の切れ目が6月末のため、現在、7月からの契約更新、契約単価の改定等の進捗状況を慎重に見極めております。また、新卒技術者に関して、例年6月から配属が本格化いたしますが、2020年4月入社の新卒技術者に関しては、計画対比で配属の遅れが見込まれております。

上記の状況を受け、新型コロナウイルス感染症の拡大による業績への影響を現時点で合理的に算出することが困難なため、2020年3月13日に公表いたしました通期の業績予想を据え置いております。今後、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年1月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,383,441	2,471,763
受取手形及び売掛金	932,112	966,369
仕掛品	2,370	2,285
原材料及び貯蔵品	2,374	4,401
その他	42,237	75,017
貸倒引当金	△5,500	△5,700
流動資産合計	3,357,036	3,514,138
固定資産		
有形固定資産	95,932	128,033
無形固定資産	59,141	62,188
投資その他の資産		
敷金及び保証金	82,920	82,776
その他	206,108	259,399
投資その他の資産合計	289,028	342,175
固定資産合計	444,102	532,397
資産合計	3,801,139	4,046,535
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	180,764	145,631
賞与引当金	132,420	263,804
その他	348,360	398,343
流動負債合計	661,544	807,778
固定負債		
退職給付引当金	411,214	436,194
固定負債合計	411,214	436,194
負債合計	1,072,759	1,243,972
純資産の部		
株主資本		
資本金	238,284	238,284
資本剰余金	168,323	168,323
利益剰余金	2,318,811	2,394,508
自己株式	△698	△698
株主資本合計	2,724,720	2,800,417
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,659	2,145
評価・換算差額等合計	3,659	2,145
純資産合計	2,728,380	2,802,563
負債純資産合計	3,801,139	4,046,535

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 2019年2月1日 至 2019年4月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2020年2月1日 至 2020年4月30日）
売上高	1,618,454	1,874,892
売上原価	1,005,376	1,147,050
売上総利益	613,078	727,841
販売費及び一般管理費	434,097	458,532
営業利益	178,981	269,309
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	43	43
受取手数料	132	151
研修教材料	763	482
未払配当金除斥益	299	404
その他	258	236
営業外収益合計	1,500	1,320
営業外費用		
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	180,481	270,629
特別損失		
固定資産除却損	—	473
特別損失合計	—	473
税引前四半期純利益	180,481	270,156
法人税、住民税及び事業税	95,450	137,000
法人税等調整額	△39,565	△54,110
法人税等合計	55,885	82,890
四半期純利益	124,596	187,266

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 2019年2月1日 至 2019年4月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2020年2月1日 至 2020年4月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	180,481	270,156
減価償却費	6,345	6,986
貸倒引当金の増減額（△は減少）	300	200
賞与引当金の増減額（△は減少）	108,688	131,384
退職給付引当金の増減額（△は減少）	23,099	24,979
受取利息及び受取配当金	△44	△44
未収入金の増減額（△は増加）	△1,111	△546
売上債権の増減額（△は増加）	△45,992	△34,257
たな卸資産の増減額（△は増加）	△2,559	△1,941
未払消費税等の増減額（△は減少）	7,003	△10,436
未払金の増減額（△は減少）	16,151	3,007
その他	68,135	10,859
小計	360,497	400,347
利息及び配当金の受取額	44	44
法人税等の支払額	△162,649	△167,150
営業活動によるキャッシュ・フロー	197,892	233,242
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,625	△34,746
無形固定資産の取得による支出	△3,336	△7,862
敷金及び保証金の差入による支出	△2,615	△60
敷金及び保証金の回収による収入	334	204
投資有価証券の取得による支出	—	△64
その他	△6	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,250	△42,535
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△102,578	△102,385
財務活動によるキャッシュ・フロー	△102,578	△102,385
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	79,064	88,321
現金及び現金同等物の期首残高	2,050,932	2,383,441
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,129,997	2,471,763

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。